

## 連合神奈川青年委員会 第30回定期総会

日 時 2019年12月23日(月)16:00~  
場 所 ワークピア 横浜



連合神奈川青年委員会は、ワークピア横浜にて『第30回定期総会』を開催、構成産別から62名の代議員が出席、運輸労連神奈川県連より4名の代議員が出席しました。

議長団には、小和田(電機連合)代議員・須藤(電力総連)代議員が選出されました。

石川委員長は、働き方改革関連法にて、労働時間が短くなった分賃金が減る。減った分は副業などで補うような働き方になってはいけない。その他にも、フードロスの問題、貧困の問題に触れたあいさつがされました。



吉坂連合神奈川会長は、社会情勢や働き方改革関連法、労働組合の役割等「『楽しく学ぶ』運動を進めていただきたい」また、厚生労働省からのデータを元に、若者の意識調査の集計で、現在の生活に満足している方が多かった中で『人と人とのつながりが持てた』とあった。まさに労働組合が出来ること!とあいさつされました。

2019年度活動報告・会計報告について満場一致で承認されました。

第1号議案「2020年度活動方針・予算(案)」が示され、可決しました。

### ----- 2020年度連合神奈川神奈川青年委員会活動方針(案)

私たちを取り巻く環境は、急速に進む少子高齢化や財政問題、格差や貧困の拡大、激化する自然災害など依然として多くの課題に直面するとともに、グローバル経済の進展のもとで、急速なデジタル化、ギグ・エコノミーの進展、曖昧な雇用の拡大など、新たな課題にも直面しています。また、人口減少・少子高齢化に伴う若年労働者の減少は、技術・技能の継承、事業・サービス品質の維持、職場内の活力にも影響する深刻な問題となっています。

このような中、雇用対策の強化や働きやすい環境の整備、さらには、持続可能な社会を実現していくためには、働く者や生活者の立場での運動や取り組みが極めて重要であり、常に取り巻く環境の変化を捉えるとともに、先送りしてきた課題の解決に向けて、先見性を持った活動が求められています。

労働組合やその役割を知らない若者が増える中、労働組合が、将来にわたり、強固な組織を維持し、発展へとつなげていくためには、次代を担う青年層が問題意識を持つとともに、労働運動を力強く押し進めていく必要があります。

私たち青年委員会は、連合神奈川の運動方針のもと、青年層の活性化を図るとともに労働組合の求心力と社会的価値を高めるため、「連合にしかできない運動」を常に意識するとともに、「私たちが未来を変える」との気概を持ち、さまざまな活動を積極かつ果敢に挑戦し続けることとします。

-----

第2号議案「2020年度役員選出」について、阿部副事務局より選出までの説明と氏名発表がされ、承認されました。

今回の役選については、石川委員長を始め22名の役員中、15名が新任となる。その中には、徳留（全日通神奈川）氏が、副委員長として承認されました。今後の、活躍に期待をしています。



第3号議案「総会宣言（案）」が提起され、採択されました。

全ての議事が可決・承認・採択され、岩本（電力総連）新委員長の音頭で『団結頑張ろう』三唱にて閉会しました。

